

Active activity

# しま×にじ 通信

Active activityで実施している「しま×にじ」の活動を紹介します。

## ▶メンバー

市民協働課	杉本	健康づくり課	福島
市民協働課	天草	健康づくり課	大村
市民協働課	藤原	スポーツ振興課	山下
人事課	大石	建設課	柴田
下水道課	梅木		

# しま×にじの活動目的

- ▶職員が性の多様性やジェンダー問題について、正しい知識や考え方をもち、組織内で性別に関わりなく能力を発揮できる環境整備を目指していきます。
- ▶市民に対しても性別・外見などに関わりなく適切な対応を心がけられるよう、グループで意見や考えを深めていきます。

## ▶グラドルール

- 人の話を遮らない。最後まで聞く。
- 他の発言を否定(ジャッジ)しない。
- 正解はありません。考えることが大切！
- 年齢や階級の垣根を越えて交流しよう。
- 無理に参加・発言しなくてもOK。

**▶最近気になったニュースor個人的ニュース**

- ・ オリンピックパリ大会では、参加者の男女比1対1と決まった
- ・ 公立高校のジェンダーレス制服導入校は全体の約3割
- ・ サッカーアジアカップ開催国カタールのジェンダー観について
- ・ 災害支援物資における生理用品（ナプキン）の認識について
- ・ ダウンタウン松本氏の性加害疑惑報道について

## ▶メンバーによる発表会のための準備と、発表のお手本を披露



今回は参加人数が多く  
楽しくわいわいとした  
雰囲気で開催できまし  
た！

## メンバーによる発表会をしてみよう

▶グループトークでは、お手本のテーマにちなんで「パートナーシップ制度成立によってどんな影響があるか」意見を出し合いました。

制度によってさまざまなサービスを受けられることももちろんだが、当事者にとっては制度が「ある」ということが一番の効果（安心感）

最近の若者は、そもそも異性愛のカップルでも、必ずしも婚姻を望んでいない人が多いと感じる。

# 参加者の感想・意見（抜粋）

もし同性パートナーを選択する人が  
すごく増えたら、今よりもっと少子  
化が進むのではないかと心配。

法律上の制約がないとなると、  
悪用の心配も出てくるのでは。

病院での病状説明や手術の同意、  
本当に家族のように扱ってもら  
えるのかな？

県で導入された制度に対する市で  
の対応はどうか？

制度を導入することが目的化して  
しまって、本来の目的を見失って  
いるのではないか？

市町では導入が進んでいるのに  
頑なに導入しようとならない県が  
あるのはどうして・・・？

第10回 (1/16)

# メンバーによる発表会をしてみよう

▶次回からしばらくは、各メンバーに興味のあるテーマについて発表する「メンバー発表会」を開催していきます！

ご興味ある方はいつでも気軽に見学に来てみてください。



お待ちしております！